

令和2年度 当初予算参考資料

- 1 福岡市の水道に関するお客さまアンケート
主な調査結果について（令和元年度実施）…………… 1
- 2 春日那珂川水道企業団への原水融通の終了について…… 11

1 福岡市の水道に関するお客さまアンケート 主な調査結果について（令和元年度実施）

（1）調査概要

① 調査目的

水に関する意識や行動及び多様化する市民ニーズを調査・分析することで今後の水道事業を進めていくための基礎資料とする。

② 対象者と調査方法

ア 調査地域	福岡市全域
イ 調査対象者	福岡市内に居住する満 18 歳以上男女
ウ 抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
エ 対象者数	3,000 人
オ 調査方法	郵送法
カ 調査期間	令和元年 10 月 23 日（水）～ 11 月 7 日（木）

③ 回収結果

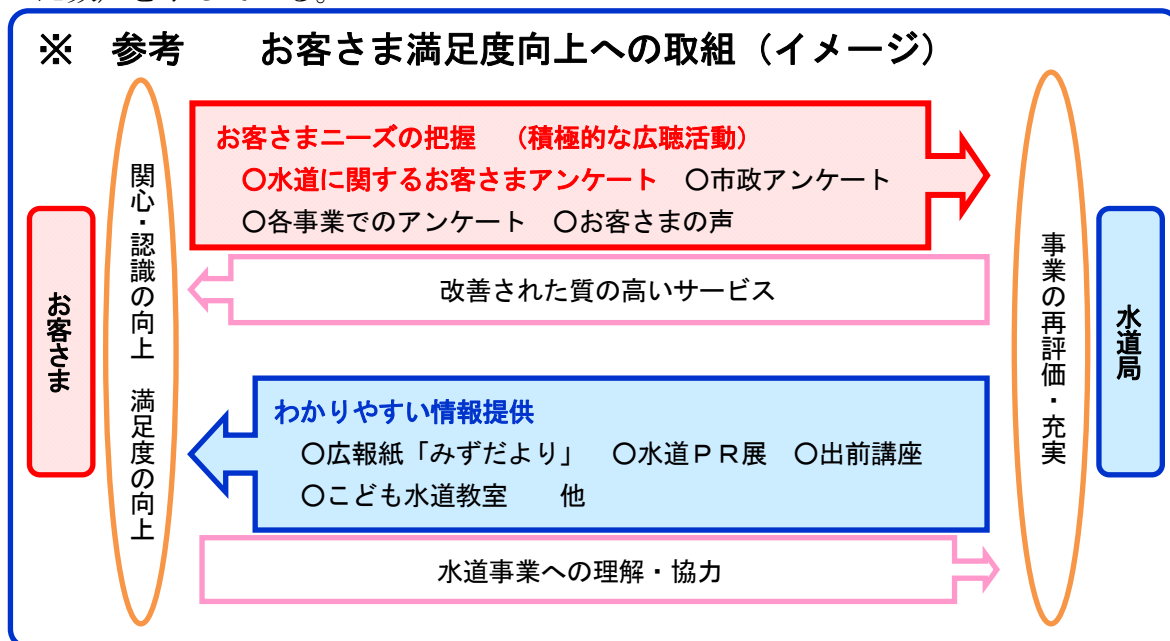
有効回収数 1,579 (回収率 52.6%) ※前 回(平成 27 年度)1,650 (回収率 55.0%)
※前々回(平成 25 年度)1,353 (回収率 45.1%)

④ 調査項目

- ア 節水意識
- イ 水道水への意識
- ウ 水道料金について
- エ 水道局の取り組み
- オ 水道事業の評価

⑤ その他

図表中の N は標本全数を、n は該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）を示している。

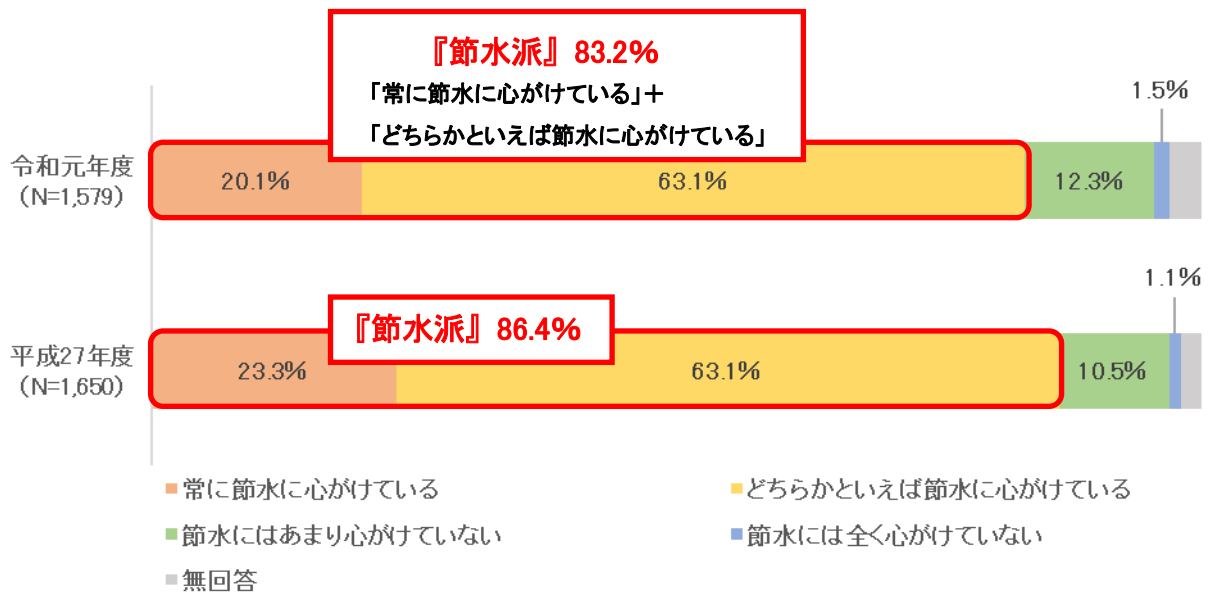


(2) 調査結果

① 節水意識について

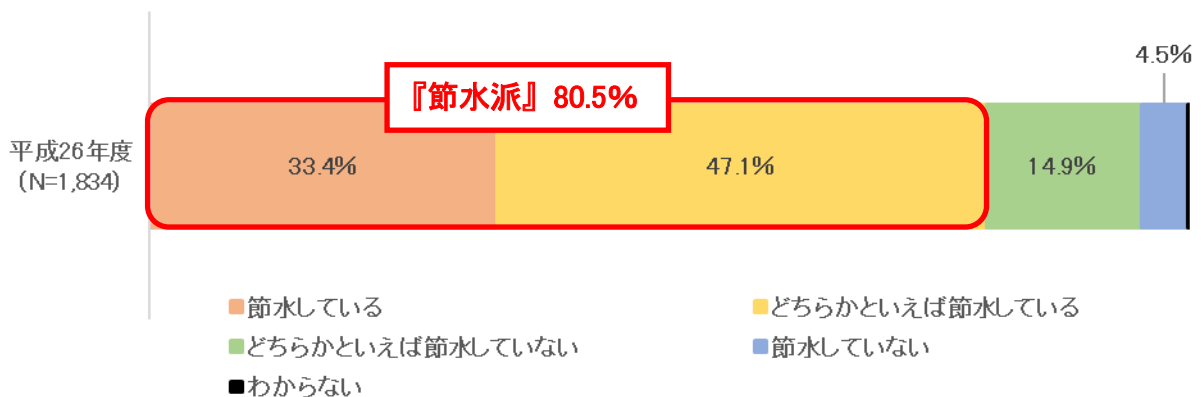
- ・『節水派』は前回より 3.2 ポイント減少し 83.2%となったものの、内閣府が行った全国調査（「水循環に関する世論調査」(26 年度)『節水している』80.5%）よりも高い割合を示しています。
- ・おおむね年代が上がるにつれ節水意識が高くなっています。

【図 1 - 1】 節水についてどれくらい心がけていますか。

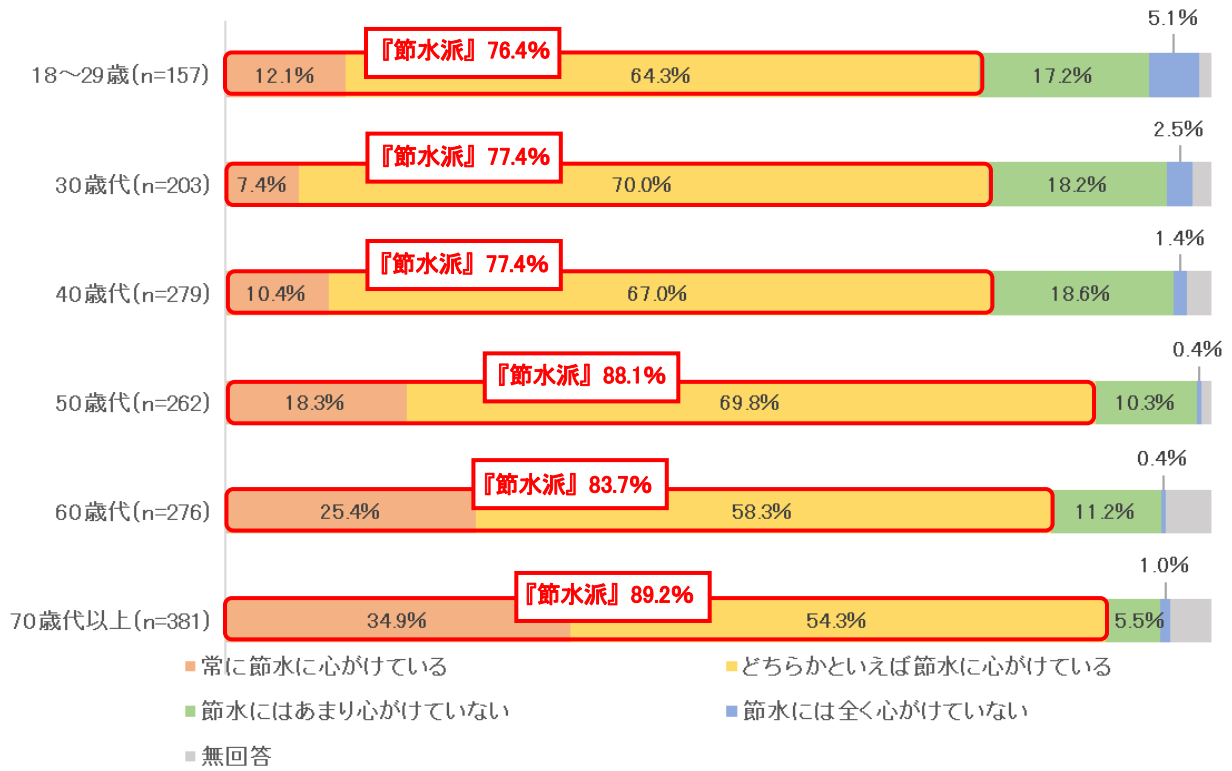


【図 1 - 2】 平成 26 年度 内閣府実施「水循環に関する世論調査」

○ 普段の生活で節水していますか。



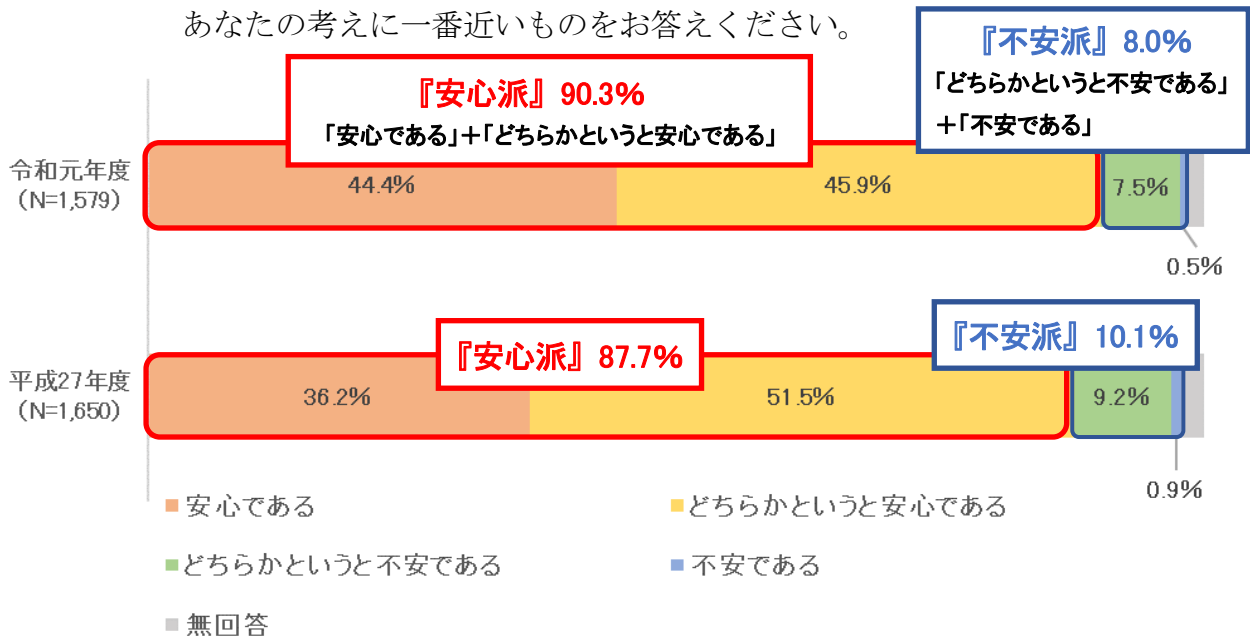
【図1-3】 節水についてどれくらい心がけていますか。(年代別)



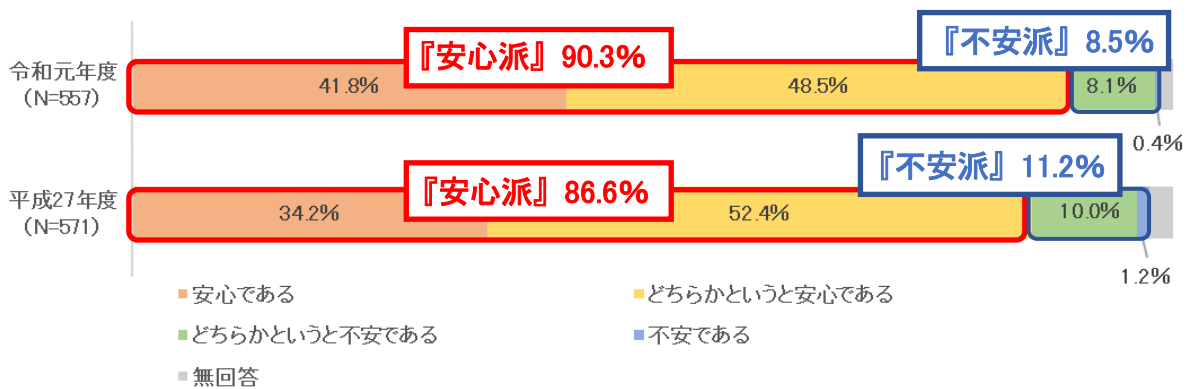
② 水道水の安全性について

- ・『安心派』は前回より 2.6 ポイント増加し 90.3%と高い割合を示しています。なお、貯水槽水道利用者に限っても同様の結果を示しています。
- ・安心と思う理由としては「水道局が水質をチェックしている」が 57.3%となっています。
- ・不安な理由としては「カルキ臭」、「漠然とした不安」が、ともに 46.8%となっています。

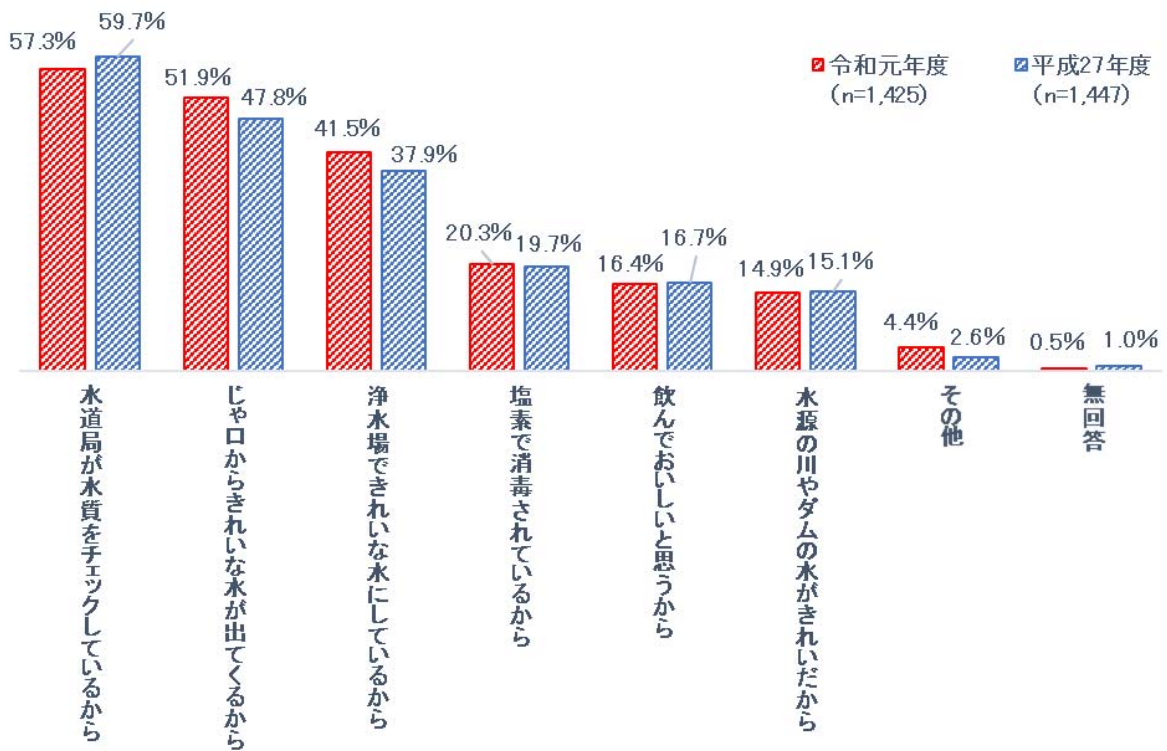
【図 2 - 1】福岡市の水道水の安全性について、あなたの考えに一番近いものをお答えください。



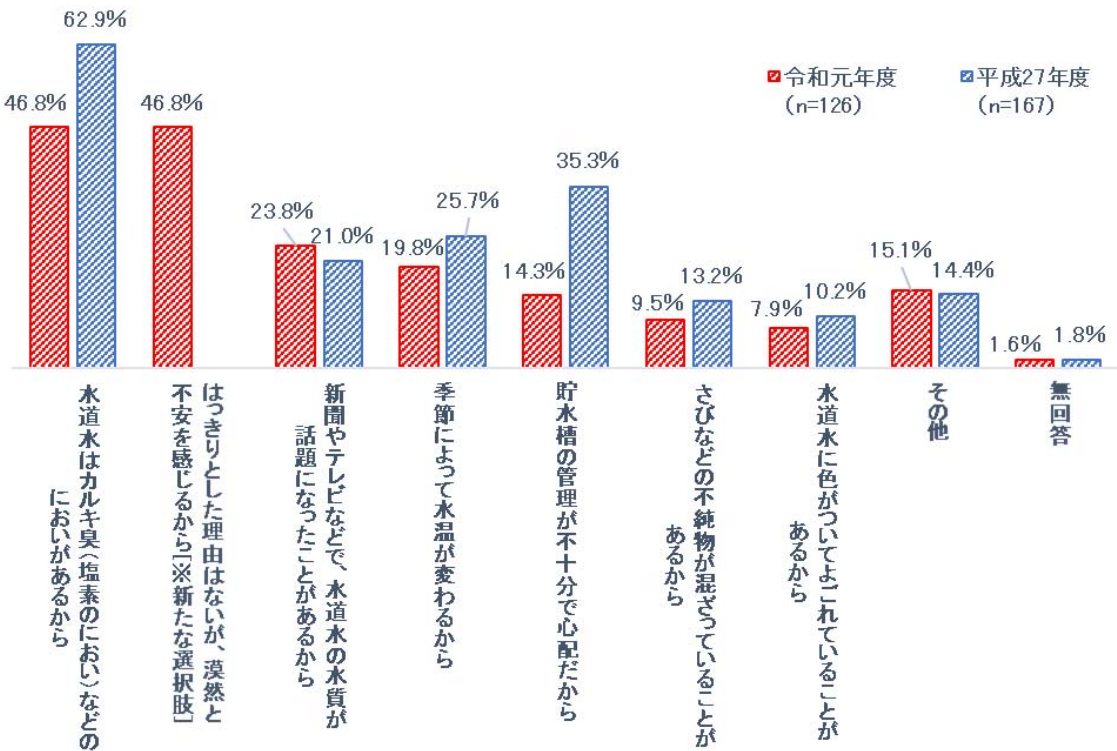
(参考：貯水槽水道利用者)



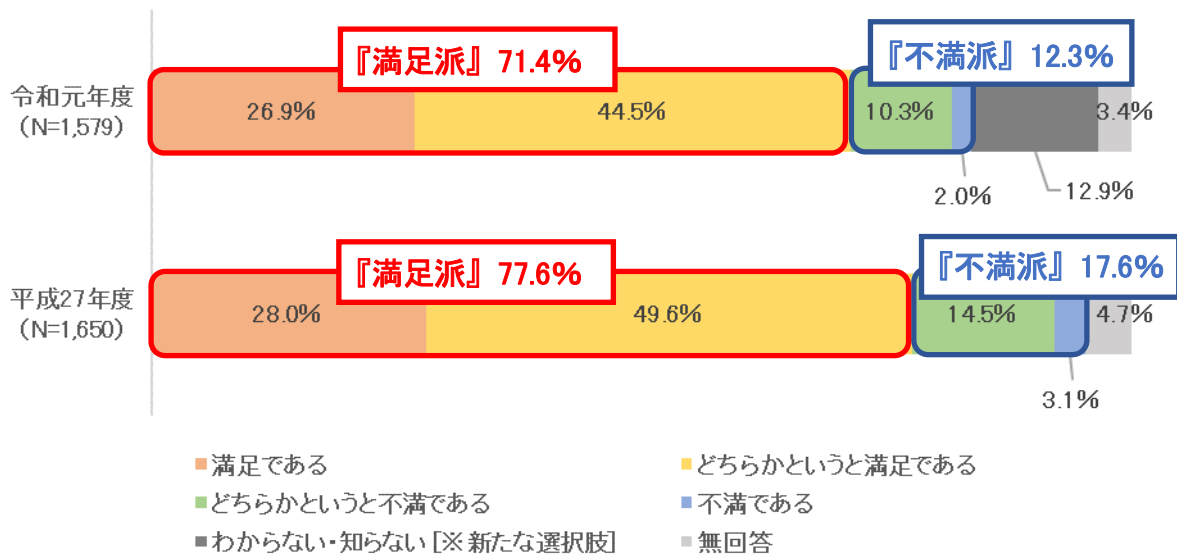
【図 2 - 2】安心と思う理由は何ですか。(複数回答可)



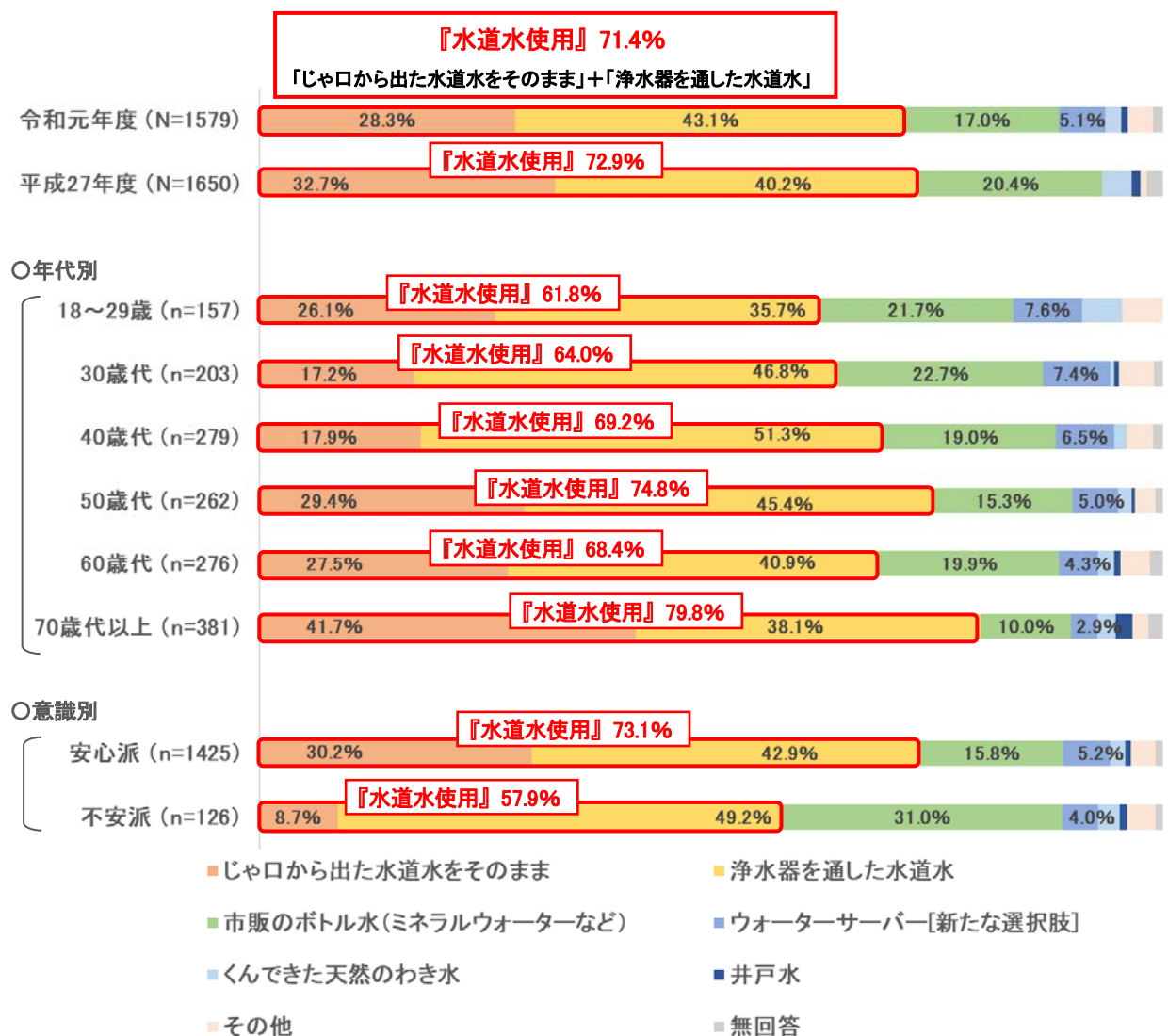
【図 2 - 3】不安と思う理由は何ですか。(複数回答可)



【図 3-3】かびのにおいの少なさ



【図 3-4】ご家庭で飲用の水には主に何をつかっていますか。
(飲用の水とは、直接飲む水やお茶・コーヒーなどに使う水です。)

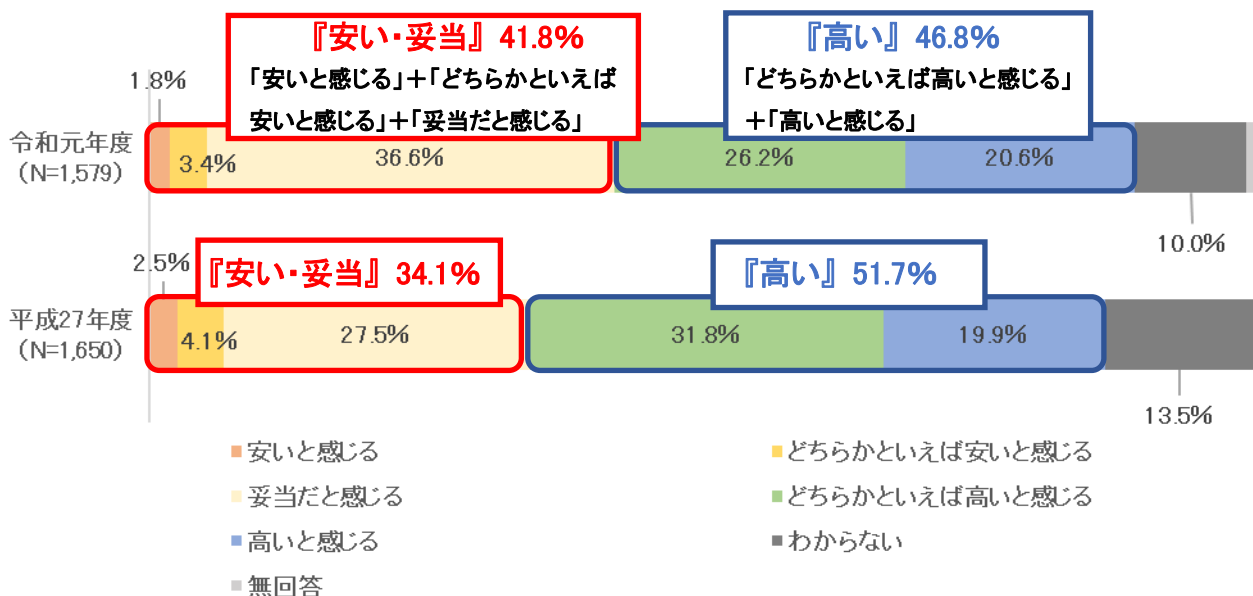


④ 水道料金について

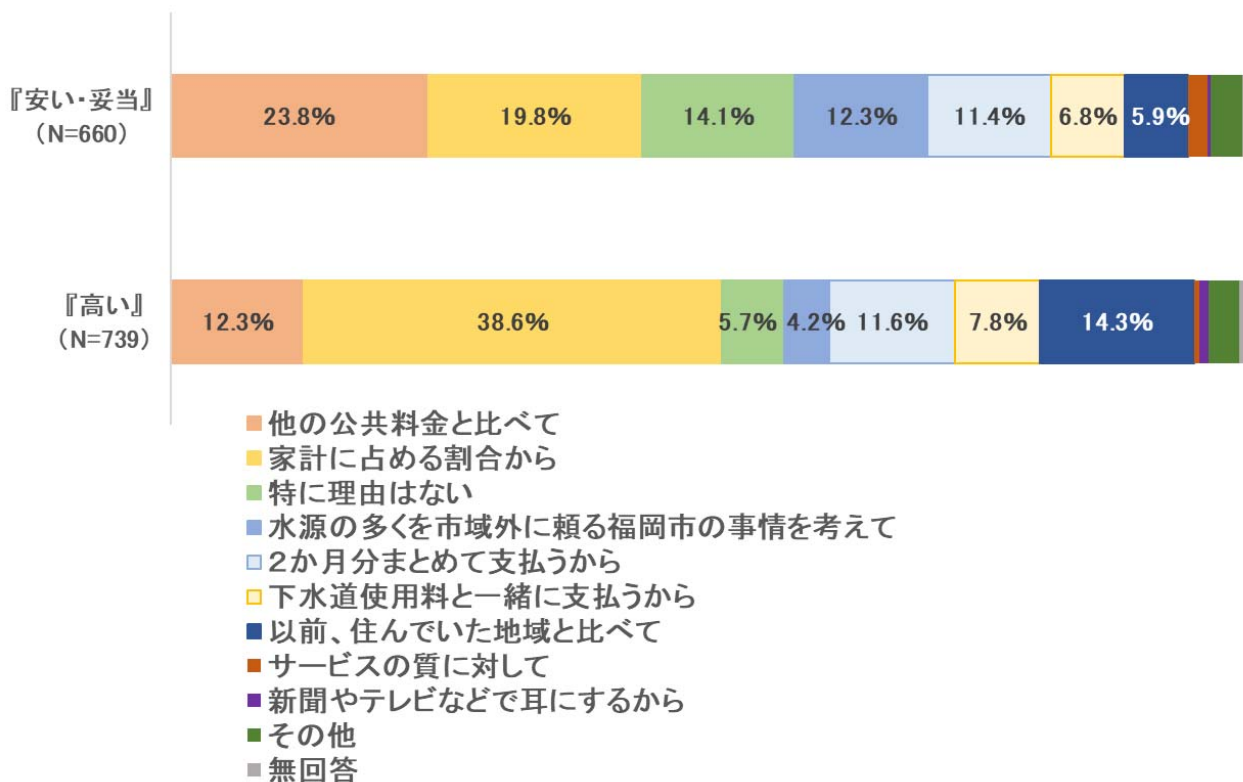
・『安い・妥当』と感じる方は前回より 7.7 ポイント増加し 41.8%，『高い』と感じる方は前回より 4.9 ポイント減少し 46.8%となっています。

・『安い・妥当』と感じる理由としては「他の公共料金と比べて」が 23.8%，『高い』と感じる理由としては「家計に占める割合」が 38.6%となっています。

【図 4-1】 水道料金について、どのように感じていますか。

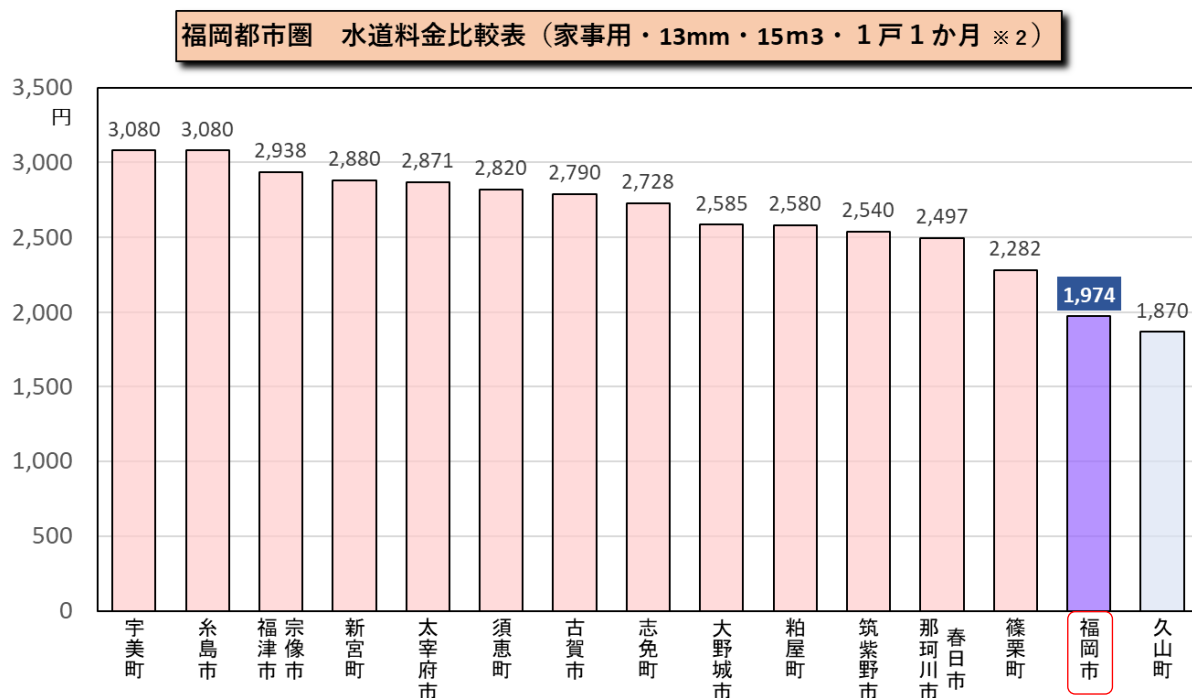


【図 4-2】 上記のように感じる理由は何ですか。

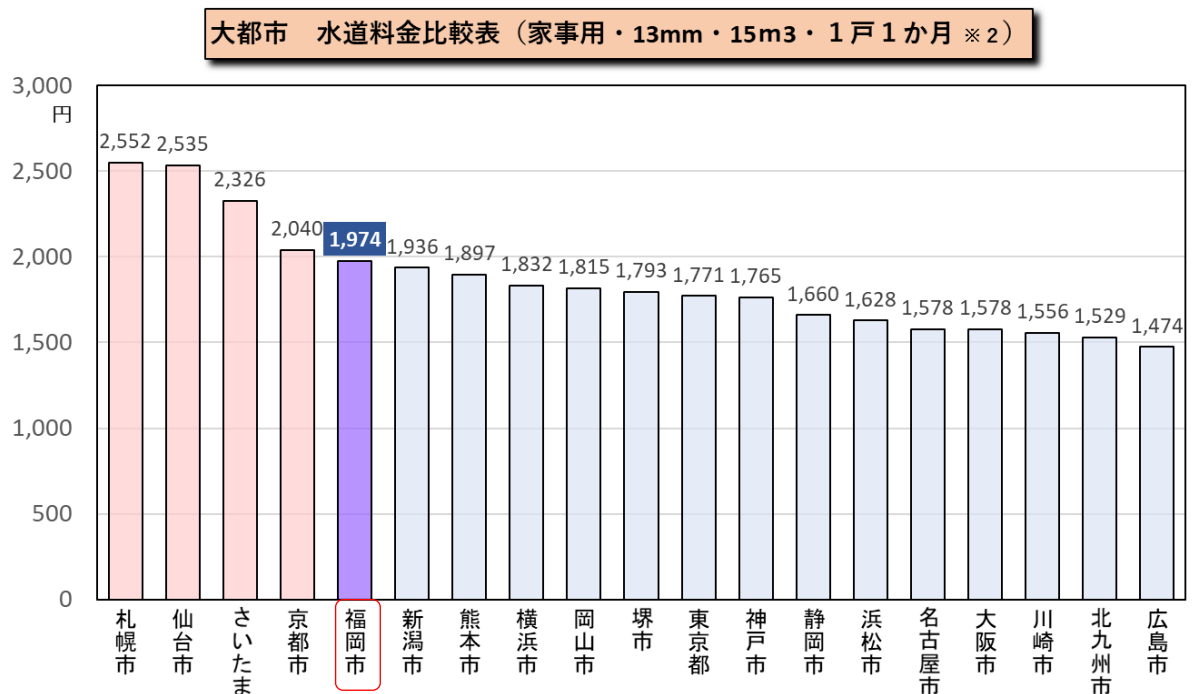


(参考：水道料金比較表[家事用]※1)

○福岡都市圏



○大都市



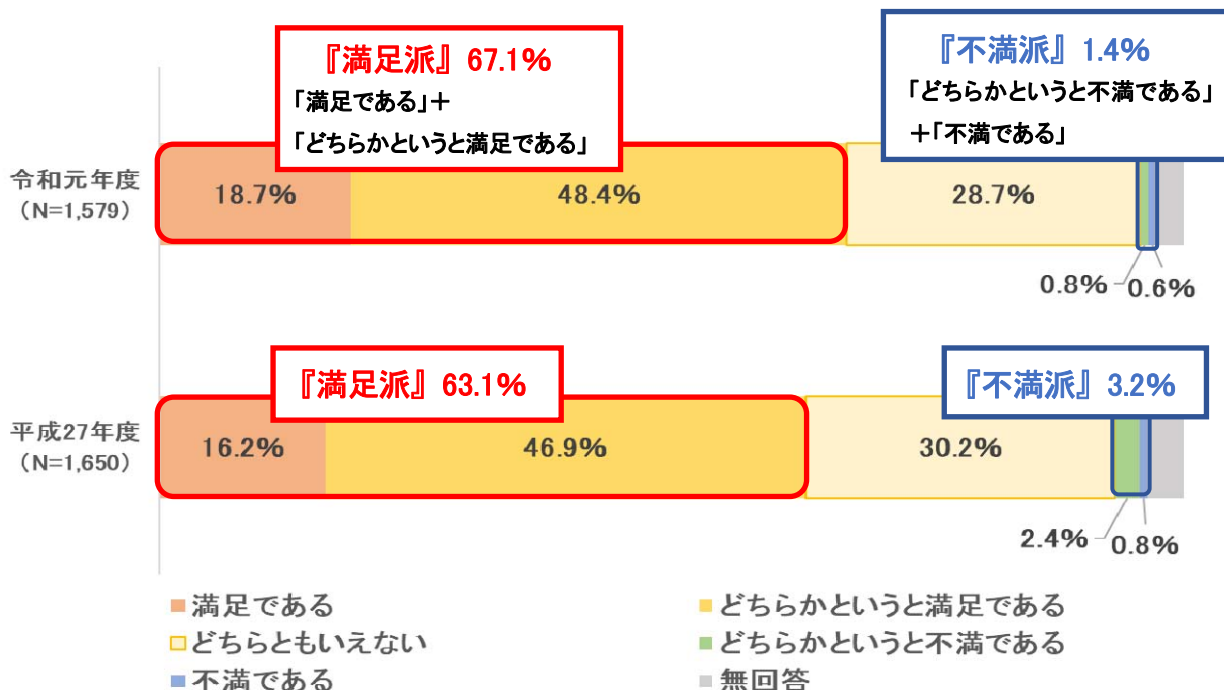
※1 令和2年1月時点の各事業者ホームページより福岡市水道局調べ

※2 口径が13ミリメートルで15立方メートル使用した場合の1戸1か月の水道料金で比較

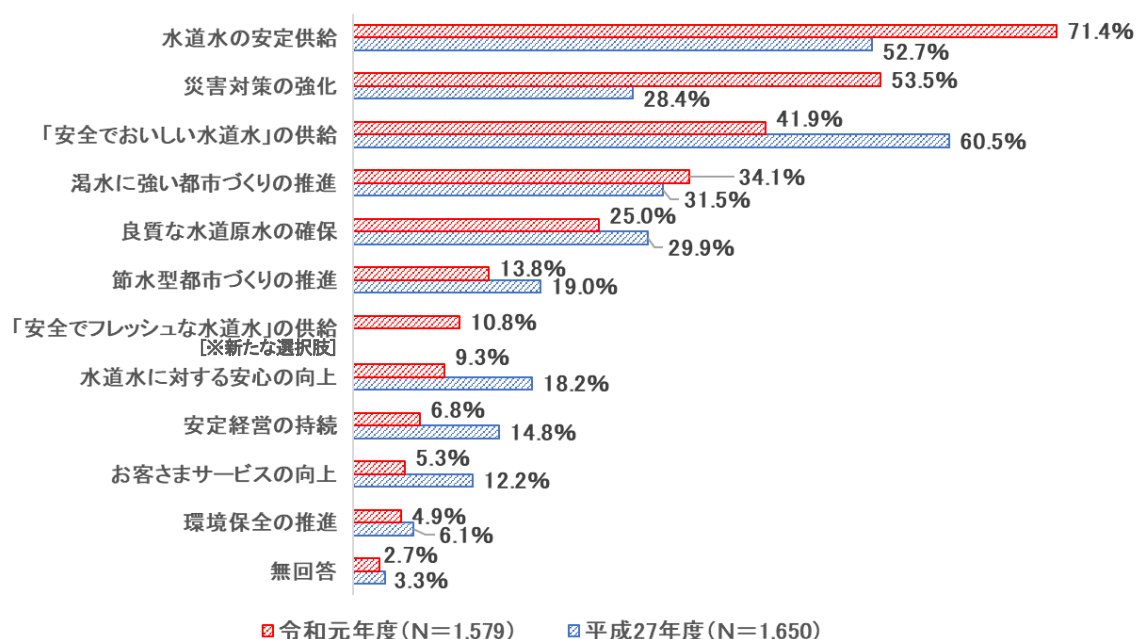
⑤ 福岡市の水道行政について

- ・『満足派』は前回より4.0ポイント増加し67.1%となっており、『不満派』は1.8ポイント減少し1.4%となっています。
- ・今後、重点的に力を入れてほしい取り組みは、「水道水の安定供給」が71.4%となっています。

【図5-1】あなたは、現在の福岡市の水道行政を総合的にみてどう思いますか。



【図5-2】あなたが、福岡市の水道行政について、今後、重点的に力を入れてほしい取り組みは何ですか。(3つまで)



2 春日那珂川水道企業団への原水融通の終了について

福岡市は、春日那珂川水道企業団に対し、平成 28 年 4 月から最長 4 年間の期限を設け、暫定的かつ特例的な支援措置として必要最小限度の水道用原水の融通を行ってきた。この度、福岡市は期限である令和 2 年 3 月末をもって原水融通を終了する。

なお、春日那珂川水道企業団においては、令和 2 年 3 月末までに恒久的な代替水源を確保できる見込みである。

原水融通の実績

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度* (概算)
融通水量	年間総量	3,423,687m ³	3,339,042m ³	2,404,064m ³	2,507,000m ³
	一日平均	9,380m ³	9,148m ³	6,586m ³	6,850m ³
負担金収入(税込)		75,837 千円	84,240 千円	51,460 千円	63,913 千円

* 令和元年度における春日那珂川水道企業団の融通水量と負担金収入については概算であり、令和 2 年度に精算を行う予定である。